

タイムトンネルシリーズ Vol.6

主催=クリエイションギャラリーG8 ガーディアン・ガーデン

和田誠 時間旅行

●第1会場 ガーディアン・ガーデン 「サムライとヘビとオバケ」 ●第2会場 クリエイションギャラリーG8 「週刊文春・お楽しみはこれからだ」



1997年10月13日(月)→11月7日(金)

11:00A.M.-7:00P.M.(最終日は4:00P.M.まで)土・日・祝日休館 入場無料

Guardian
Garden

ガーディアン・ガーデン

Produced by RECRUIT

〒104 東京都中央区銀座8-8-18ガーディアン・ガーデンビル1F, 2F TEL.03-5568-8818

クリエイションギャラリーG8

〒104 東京都中央区銀座8-4-17リクルートGINZA8ビル1F TEL.03-3575-6918

Criation
Gallery
G8

和田誠 時間旅行

1997年10月13日(月)→11月7日(金)

11:00A.M.~7:00P.M.(最終日は4:00P.M.まで)土・日・祝日休館 入場無料

タイムトンネルシリーズ Vol.6



1937

●第1会場 ガーディアン・ガーデン 「サムライとヘビとオバケ」

●第2会場 クリエイションギャラリーG8 「週刊文春・お楽しみはこれからだ」

第一線で活躍する作家たちのデビューまでの足跡をたどり、その発想や表現の原点を探ろうという「タイムトンネルシリーズ」。第6回目はイラストレーター、グラフィックデザイナー、映画監督、作曲家、と実際に多彩な才能をもつ和田誠氏にお願いしました。表紙イラストレーションやデザインを中心に2会場で同時開催いたします。

ガーディアン・ガーデンでは、多摩美術大学に学び、ライト・パブリシティで

プロのグラフィックデザイナー、イラストレーターとして仕事をはじめるまで、4歳からの20年間を振り返ります。

クリエイションギャラリーG8では、20年間にわたり「週刊文春」の表紙を飾ったイラストレーションと、「お楽しみはこれからだ」全7巻のイラストレーションを、約300点、一挙にご紹介いたします。

(クリエイションギャラリーG8/ガーディアン・ガーデン)



1941

時間旅行トーク1 ●第88回クリエイティブサロン

「イラストレーター 昨日・今日・明日」

10月23日(木) 6:30P.M.~8:00P.M.

ゲスト／下谷二助、和田誠

場所／ギャラリーカフェ(クリエイションギャラリーG8隣) 入場無料(要予約)

*ご予約、お問い合わせは、クリエイションギャラリーG8(TEL:03-3575-6918)まで



1985

時間旅行トーク2

現役美術学生が和田誠氏への質問状をもってのぞむトークライブ

10月28日(火) 6:30P.M.~8:00P.M.

場所／ガーディアン・ガーデン 入場無料(要予約)

●和田氏への質問を大募集します。イラストのこと、デザインのこと、何でも 疑問・

質問をFAX03-5568-0512、または E-mail yunishi@r.recruit.co.jpまで
直接お送りください。締め切り=10月23日(木)

●また、当日のインタビュー(現役美術学生男女各1名)を募集します。

詳しくはお電話にてお問い合わせください。

*ご予約、お問い合わせは、ガーディアン・ガーデン(TEL:03-5568-8818)まで

●オープニングパーティー 10月13日(月) 6:30P.M.より両会場にて行います。



1942



1953



1996

昔のことをしゃべるようになるのは、年をとってきたことの表われだ、と言います。

うーむ。昔の絵を並べて展覧会を開くのはどうなんだ。年をとった証拠というだけではなく、死んじゃったあの回顧展のようでもあるなあ。

しかし今のところ、ぼくはまだ元気です。確かに赤いチャンチャンコの年齢になってしまったけれども、まだしばらくは前を向いているつもり。立ち止まつたり昔は良かったなあ、なんて言う気はありません。展覧会のタイトルは「時間旅行」。ぼくはこれが気に入っています。SFが好きだし。タイムマシンは過去だけじゃなく未来にも行けるそうですから、みなさんに過去をご案内しつつ、自分は数年先に遊びに行きたいと、そんな気持でおります。

(和田誠)



1945

プロフィール

1936年生まれ。1959年多摩美術大学図案科卒業後、ライト・パブリシティ入社。多摩美術大学在学中に日宣美賞受賞、1964年短編アニメーション「殺人」を製作、毎日映画コンクール大藤信郎賞受賞、1965年雑誌「話の特集」にADとして参加。1968年よりフリーとなり、1968年「週刊サンケイ」表紙の似顔絵担当、1974年似顔絵集『PEOPLE』で講談社出版文化賞(ブラックデザイン部門)受賞、1977年「週刊文春」表紙絵とデザインを担当、現在に至る。1981年講談社出版文化賞(しえ部門)、1982年著書『ビギン・ザ・ビギン』で角川書店日本ノンフィクション賞、1984年監督映画「麻雀放浪記」で報知映画賞新人賞など、1989年監督映画「快盗ルビイ」でブルーリボン賞、1994年幅広い活動が認められて菊池寛賞受賞。著書に『お楽しみはこれからだ』(全7巻、文藝春秋)、『倫敦巴里』(話の特集)、『和田誠百貨店』(美術出版)など多数。

